

北光

第169号 令和6年4月



北光会

(<http://www.hokkokai.com>)

Facebook もご覧下さい。「Facebook 北光会」で検索

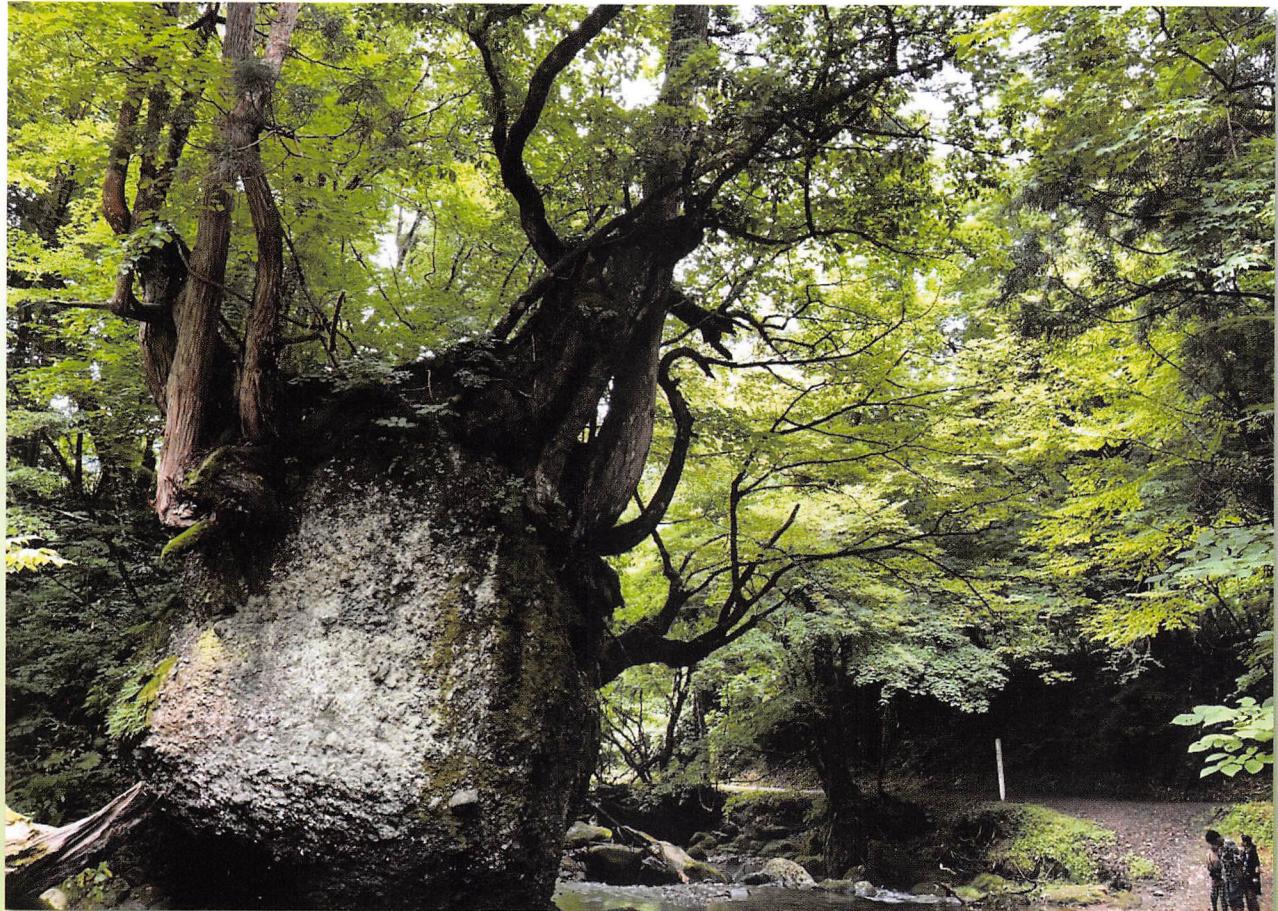
秋田鉱山専門学校

秋田大学鉱山学部

秋田大学工学資源学部 同窓会

秋田大学国際資源学部

秋田大学理工学部



ネコパリ岩（五城目町）

ピックアップ

■ 学長退任挨拶 p.8

■ Be active p.21

■ プレゼント企画 p.40

など

インドネシア北光会が
設立されました p.9



《卒業生の父母の皆様へ》

本誌送付先の変更を希望される場合には、北光会事務局までご連絡ください(北光会事務局 TEL:018-835-9822)

北光 No.169

[2024]

目 次

巻頭言	1
北光会通常総会について	2
年会費について	4
北光会支部からのお知らせ	6
学長退任挨拶	8
インドネシア北光会	9
退職教員挨拶	10
令和5年度 北光会主催 卒業・修了を祝う会	11
北光会賞受賞者	12
令和5年度卒業生・修了生進路状況	14
輝け秋大生	18
Be active	21
大学院生研究交流会	24
北光会クラス幹事	25
令和5年度第2回北光会理事会報告	28
北から南から	29
母校だより	34
事務局から	36
北光会支部一覧	37
訃報	38
編集後記	39

北光会の活動は会員の皆様に支えられております。
皆様の日ごろからのご協力に感謝いたします。



田植え前の風景（大台スキー場山頂より撮影）

時のうつりめ

秋田大学名誉教授 菅 原 拓 男
(F-S40)



この冬は例年になく暖かかったが、思い出すと昨夏は猛暑続きで集中豪雨によって市内を貫流する太平川の氾濫があった。このところ地球温暖化の影響が秋田にも現れ始めているようにみえる。

私は2007年秋に創設された「ストップ・ザ・温暖化あきた県民会議」に参加し、以来、秋田県として気候変動にどう対処するか、その方策を検討してきた。当初は県内製造業はじめオフィスビルさらには個々の家屋における「省エネ」のための工夫、“緩和”策を提言してきたが、近年は“適応”策も検討している。大気への CO₂排出量を2050年までに実質ゼロに抑えることができたとしても、温暖化の影響はその後も続く恐れがあり、両施策と一緒に検討しておく必要があると判断したからである。

さて1980年代以降“3E:トリレンマ”という用語がトピックになっていた。3つの E、Energy (エネルギー利用)、Economy (経済振興)、Environment (環境保全)、は三すくみ状態にある。どうにかならないか、困ったものだ…そのような気分を表す言葉である。しかし2000年に入り、とくに東日本大震災以降は全国的にエネルギー消費量が年々低下しながら国内総生産 (GDP) は依然として上昇傾向を保ち続けている。秋田県内総生産と消費エネルギーの関係についても2013年以降、全国と同じ傾向を示していることが分かった。最近のコロナ禍によって GDPは一時下がるが、大きな流れとしては、今後とも、化石エネルギー消費量は低下して地球環境負荷を低減しながら、一

方では国内総生産量は増大する、というワイン・ワインの関係が続きそうである。

ところで、昨年は日本の GDPがドイツに抜かれ世界四位になった、というニュースが流れてきた。日本は伝統的な雇用スタイルに基づく産業全体の効率の低さが今日の結果をもたらした。今後の世界における立ち位置も暗いと懸念する経済人、社会学者もいるようである。しかし、私は懸案のトリレンマ問題も解決しつつある日本がこのまま沈んでいくとは思わない。たしかに人口減少問題を抱えてはいるが、国の豊かさの指標も見直す必要があるし、日本はいま、従前の社会構造を見直す“時のうつりめ”にいるのではないか、と感じている。地球環境にあまり負荷をかけないよう、全国的に省エネを徹底して行いながら一方では各地域においてそれぞれの特徴を生かしたまちづくりを進めること、そして穏やかに生活を続けられるようにするためにかたち（社会構造）を求める、日本はいまその指針を見出そうとしていると信じている。もちろん課題が山積なことは間違いないが、Well-being (ウェルビーイング、長期的・総合的な幸福) が一つの指針であると受け止めている。それだけに、各界において日々励んでおられる北光会員の皆様のご健闘・ご活躍を祈るばかりである。



北光会通常総会について

北光会 会長 鈴木 勝 王
秋田支部 支部長 石塚 鈴雄

北光会第73回通常総会を下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。

なお、前日（5月31日（金））にはゴルフコンペを企画しておりますので奮ってご参加くださいますよう併せてご案内申し上げます。

1. 日 時：2024年6月1日（土）

2. 場 所：秋田キャッスルホテル

〒010-0001 秋田県秋田市中通1丁目3番5号 TEL：018-834-1141

3. 時間・スケジュール

- (1) 13:00～14:10 支部長会 (3F 天平の間)
- (2) 14:20～15:50 総会・表彰式 (4F 放光の間)
- (3) 16:00～17:20 記念講演会 (4F 放光の間)
- (4) 17:30～19:30 懇親会 (4F 放光の間)

* 当日控室として、4F「飛鳥の間」を用意しております。

4. 記念講演

16:00～16:40 演題「南アフリカ諸国との協働プログラム
—スマートマイニング特別プログラムの活動」

講演者 秋田大学グローバルリソース研究機構・機構長
秋田大学大学院国際資源学研究科・教授
安達 肇 先生

16:40～17:20 演題「秋田における航空機システムの電動化に関する研究開発
について」

講演者 秋田大学電動化システム共同研究センター長
榊 純一 先生

5. 懇親会・二次会

(1) 17:30～19:30 懇親会 会費：8,000円

(2) 20:00～ 二次会（秋田キャッスルホテル内 バー・ロータス）会費：4,000円

(3) 総会、懇親会、二次会への参加申し込み

5月22日（水）まで

申し込み先 松木幸生（A-H12、A-H14一院）あて

E-mail akita.hokkokai@gmail.com

問い合わせ先 秋田支部長 石塚鈴雄 (F-S48) TEL:090-9744-8875

E-mail : suzuo.ishizuka@gmail.com

6. 通常総会関連行事

北光会ゴルフコンペ

日 時：2024年5月31日（金）9時30分スタート

会 場：秋田椿台カントリークラブ

コンペ参加費：3,000円（プレー代は別途）

申し込み先：阿部倫比古（H-S55）あて

E-mail mi@a.email.ne.jp

TEL 090-3758-2830

その他：ゴルフ場へは秋田支部会員が送迎します。

ゴルフコンペ参加者には、申し込み確認後、

改めて詳細をご連絡します。

7. 宿泊・交通の手配

原則として、会員各自でご手配をお願いします。

なお、秋田キャッスルホテル（総会・懇親会等会場）には以下の通り北光会関係者向けの宿泊用部屋を用意しております。

(1) 対象宿泊日：2024年6月1日（土）

前泊、後泊もご相談にのります。

(2) 宿泊代（一泊朝食付き税込み）

シングルタイプ	11,000円 / 一人
---------	--------------

ツインタイプのシングル使用	16,500円 / 一人
---------------	--------------

ツインタイプの二人使用	10,000円 / 一人
-------------	--------------

なお、申し込みは先着順です。満室となった場合はお断りすることがございますのでご了承ください。

(3) 宿泊の申し込みは、総会・懇親会・二次会の申し込みと一緒にお願いします。ホテルへの直接申し込みは、北光会関係者向けの宿泊の対象とはならない場合がありますので、ご注意願います。



このたびの「能登半島地震」により、被災された皆様とそのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。皆様の日常が一日でも早く戻りますよう、心よりお祈り申し上げます。

今年の冬は、全国的に暖冬と言われておりますが、秋田もとても暖かい冬となりました。雪が降ってもすぐに溶ける、そのような状況を繰り返し雪かきの必要がなく、とても楽な一方で、少し物足りなさを感じるそんな冬でした。

さて、本号では、実に5年ぶりの開催となりました「卒業・修了を祝う会」の様子が掲載されております。当日は、朝こそ雨雪が降る天候ではありましたが、卒業式が終わるころには日差しが出始め、とても晴れやかな表情をした卒業生・修了生たちがたくさん来場してくださり、コロナ禍前の会と同じように、とても活気に溢れた会となりました。卒業・修了した皆様のこれからのご活躍がとても楽しみです。

秋田大学では、来年度の新学部設立と理工学部改組に向け、動き始めております。これからもこの「北光」を通じて、秋田大学の今をご紹介していきたいと思いますので、ご期待いただければ幸いです。

技術部物質科学系
佐藤 菜花



山野草チングルマ（秋田駒ヶ岳）

発行所 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 秋田大学 北光会

URL : <http://www.hokkokai.com> E-mail : info@hokkokai.com

電話 018 (835) 9822 内線 2317 FAX 018 (835) 9822

振替 02510 - 5 - 1231

発行人 長縄 明大 (P-H2)

編集委員 千田 恵吾 (G-H3) 芳賀 一寿 (U-H20) 近藤 良彦 (F-H5) 山谷 孝裕 (U-H21SK)

佐藤 菜花 (W-H18B) 菅原 透 (S-H8A) 淀川 信一 (D-H3) 佐藤 諒 (E-H28)

関 健史 (M-H17) 斎藤 憲寿 (C-H18)

北光会事務局 事務局長 長縄 明大 (P-H2)

庶務担当理事 高崎 康志 (S-H6C)

会計担当理事 熊谷 誠二 (E-H7)

編集委員長 河村 希典 (D-H6)

広報・Web担当理事 横山 洋之 (D-H1)

事務室 中川 心 船木 幸枝

印刷所 秋田活版印刷株式会社

